2 - 19

# 少人数で行う委員会活動の工夫

~一人一人が活躍する委員会活動~

#### 1 はじめに

本校は全校児童17名の小規模校である。そのため委員会活動は3年生以上の13名で行っている。 委員会は集会・広報、図書、保健・環境の3つを設置している。

各委員会では、上級生から下級生へと児童が活動を引き継いでいる。3年生は上級生の活動を見学することから始め、上級生とペアになり、各活動を一つずつ覚えていく。また、5・6年の2年間は同じ委員会に所属するため、6年生になると自分たちで様々なアイデアを出し、活動を工夫することができている。日々の当番活動に加え、集会での発表等にも積極的に取り組んでおり、一人一人が活躍する委員会活動を展開している。

#### 2 実践例

(1) ふれあい集会(集会・広報委員会が児童の誕生月に実施)

ねらい	誕生月の児童を全校で祝福し、児童の交流を	
	深める。	
主な内容	<ul><li>○ お祝いカードを作成し給食時にプレゼント</li><li>○ 全校児童で行う遊びの計画→昼休みに実施 (輪投げ大会、新聞から誕生月児童の名前探</li></ul>	
	し、おにごっこ、宝探し等)	7
	○ 全校遊びの内容は委員会の話合いで決定	
工夫点	○ 委員による説明やデモンストレーション	
	○ 縦割り班を組み、異学年の交流を促進	



### (2) 朝の本読み集会 (図書委員会が月2回実施)

ねらい	本の読み聞かせを通して、わかりやすく伝える力を育てる。
主な内容	<ul><li>○ 朝読書の時間に、図書委員が全校児童に絵本を読み聞かせ</li><li>○ 図書委員会以外の児童による「チャレンジ本読み会」を実施</li></ul>
工夫点	<ul><li>○ 実物投影機で絵本を大型テレビに投影</li><li>○ 司会、読み聞かせ、投影係を毎回交代し、 委員は事前に練習</li></ul>



## (3) 保健集会(保健・環境委員会が年3回実施)

ねらい	体や心の健康づくりについて、児童の発表等
	を通して全校で考える。
主な内容	○ 目や歯の大切さ、食事と栄養など健康に関
	する身近なテーマについてアンケート調査、
	発表、話合い等を実施
工夫点	○ 発表内容や方法を養護教諭と児童が話し合
	いながら決定
	○ 高学年の児童によるアンケート集計
	○ 児童が様々なキャラクターに扮して寸劇を
	演じたり、ゲームを取り入れたりするなどの
	発表方法の工夫

